



# REAL RACING

2016年7月17日(日)

会場：富士スピードウェイ

天候：曇り

気温：25°C(14:00時点) 路面温度：27°C(14:00時点)

コースコンディション：ドライ

観客:22,800人7月16日(土)~17日(日)静岡県 富士スピードウェイで2016全日本スーパーフォーミュラ選手権シリーズ第3戦が開催された。梅雨が明けず、不安定な天候ではあるものの、連休ということもあり沢山のファンの方々がサーキットに訪れた。

朝から緩やかな雨が降ったりやんだりという天候となった16日(土)。14時45分、予選Q1セッションが開始された。全19台の参戦マシンの中から、5台がノックアウトされ、Q2に進出できるマシンは14台となる。気温21°C、路面温度22°Cというコンディションの中、まずは上位14台を目指し、コースに向かうREAL RACINGの#10塚越広大と#11伊沢拓也。Q1開始直前に振り出した雨により、コース上がウェットコンディションとなったため、レインタイヤを装着しコースイン。マシンバランスとコースの状態を確認しながら周回し、4周を終えたところで#11伊沢はマシンを一旦ピットに戻し、マシンの微調整を行う。一方、#10塚越はピットに戻ることなく走行を続けていた。その結果10周目に1'44.875というベストタイムを出し、10番手でQ1を突破することとなった。再度マシンをコースに戻した#11伊沢はアタックを開始し、1'46.041というベストタイムを出すも、17番手のタイムとなり、チームの思いをQ2に進出した塚越に託すこととなった。

Q1から10分後、路面が乾き始めたコースでQ2セッションが開始された。7分間という短いセッションのため、開始早々コースに向かう#10塚越。1周ウォームアップラップを経て、アタックラップに入った塚越は1'43.812というベストタイムを出したが、惜しくも10番手に終わり、Q3への進出は叶わなかった。

この結果、#10塚越は10番手から、#11伊沢は17番手から翌日の決勝レースをスタートさせることとなった。

17日(日)決勝日の朝のフリー走行では、前日の雨の名残でハーフウェットとなった富士スピードウェイのコース。REAL RACING 2台のマシンはこの週末初のスリックタイヤをはいてフリー走行を行った。

<http://realracing.jp>



# REAL RACING

その後、雨に降られることなく、決勝スタートの開始時刻となる14時には気温は25℃、路面温度は27℃まで上昇。湿度が高いものの、コースは完全にドライコンディションで行われることとなった。上位のマシン1台が決勝レースの出走を取り消したため、8分間のウォームアップ走行を終えて、#10 塚越は9番グリッドに、#11 伊沢は16番グリッドからのスタートとなった。

午後2時にフォーメーションラップがスタート。18台がグリッドに整列し、55週の決勝レースがスタートした。#10 塚越、#11 伊沢はオープニングラップでそれぞれ順位を上げ、7位と15位を走行。その後#10 塚越は一度、後続車両にオーバーテイクを喫したものの、前を行く車両のコースアウトにより、再度7位に順位を戻す。10周目を過ぎると、後方車両が続々とピット作業に入り始め、各チームのマシン順位が変動を始める。16周目に入ったところで、マシントラブルにより他チームのマシンがコース上に車両を停めた為、セーフティカーがコースに導入されることとなった。ピット作業を行っていないREAL RACINGの2台もこのタイミングでピット作業に入る。給油のみを行いマシンをコースに戻す#10 塚越と#11 伊沢。17周目#11 伊沢は再度ピットインし、フロントタイヤのみを交換しコースに戻る。レースが19周を終えると、コース上に停めたマシンの回収が終わり、レースが再スタート。その時点で#10 塚越は8位、#11 伊沢は17位を走行。この後、他チームのマシントラブル、ペナルティ等が発生し、24周目の時点で、#11 伊沢は14位まで順位を上げた。しかし、25周目を終えた後、#11 伊沢にSC中のコースアウトによるドライブスルーペナルティが課せられることとなる。30周目、ペナルティを消化した#11 伊沢は15位でマシンをコースに戻す。一方#10 塚越は2台のマシンにオーバーテイクされ、31周目を終えた時点で、10位を走行。このあたりから、順位の変動が少なくなる。ただひたすらに前を見据え、あきらめない走り続ける#10 塚越と、#11 伊沢。この後、48周目で1台のマシンがコースアウトしリタイヤ。また51周目を終えてまた別の1台がピットに戻ることもあったため、#10 塚越は8位、#11 伊沢は11位でチェッカーを受け、塚越は見事、開幕戦から3連続でポイントを獲得することとなった。

次戦は8月20日(土)～21日(日)に ツインリンクもてぎで行われる第4戦となります。#10 塚越にとっては地元となるレース、そして#11 伊沢にとっても、チームにとっても、Hondaのホームコースでの戦いとなります。

皆さまのご声援に答えられるよう、上を目指し戦って参りますので、変わらぬご声援をよろしく願いいたします。